

「ミルクをどうぞ」



自分より小さい子を思いやる気持ちか育ってきていることを感じさせられる場面でした。

「ごっくん」



楽しく食事ができるように、ひとりひとりの発達に応じた援助の仕方を工夫していきたいと思っています。